

令和6年度 第1回 学校運営協議会（記録）

◆日 時 令和6年7月11日（木） 10:00～12:00

◆場 所 本校小中多目的室

◆参加者 学校運営協議員 14名

本校職員 4名

◆議事録

内 容	発言者	記 録
1 日程説明	副校長	
2 挨拶	校長	- 旭川出身、40年ぶりの旭川。春光台地区は幼少期にザリガニを捕ったり、バッタを追いかけたりするなど、よく遊んだ思い出深いところ。 - 北海道どこの地域も人口が減ってきている。子どもは宝。生きていくための力を地域ぐるみで連して育てていくことが大事。 - 忌憚のないご意見をもらって、学校の教育活動に還元していきたい。
3 自己紹介	A 委員	学校とは、地域の行事に参加してもらい、いろいろな活動をとおして地域とつながりを少しずつ強めてきた。皆さんと協力していけば、もっと交流が深まって、子どもたちのために何かできるのではないかなと思っている。
	B 委員	- 学校と一緒にできることがあれば、一生懸命取り組みたい。 - 小学生の頃に、1か月だけ旭川養護に通っていたことがあることを最近になって急に思い出した。
	C 委員	公民館の合唱サークルのメンバーが、学校の授業に参加させてもらった。その際には、中富良野小学校時代の教え子にも会うことができた。とても嬉しかった。
	D 委員	- 父親が開拓者で、子どもの頃から春光台で育ってきた人間である。 7/7のセンターまつりでは、延べ1,000名くらいの来場者があった。養護学校の作品を展示させてもらい、たくさんの人の目にとまったと思う。地域の方々にこの学校のことを知ってもらうきっかけになったのではないかな。
	E 委員	- これまで10年間東光スポーツ公園の管理をしていた。今年から春光台公園にお世話になっている。 - 今年も「春光台公園を楽しもう」では養護学校にお世話になります。
	F 委員	- 日頃から協力し合っている関係。 - 夏場の暑さをしのぐのに、今年も（全館空調が効いている）センターの施設を使っていたきたい。
	G 委員	- ツールBOXのいろいろなグッズを紹介したりする中で、だんだんつながりができてきた。 - 職場の感染対策が緩和されてきていて、もしかしたら、養護学校の児童生徒と交流をすることができるかもしれない。
	H 委員	学生の教育実習でお世話になっている。学生からあがってきた、養護学校の見学希望も快諾していただいた。

		・運営協議会のメンバーである馬場さんとのつながりをとおして、ツールBOXの鈴木さんに学校で講義をしていただくことができた。 ・民間企業代表の立場と小学生二人の父親としての立場、両方の視点から、子どもたちが少しでも充実した楽しい学校生活を送ることができるよう力になりたい。
4 概要説明	I 委員	
・コミュニティスクール	J 委員	・生活介護事業所をしている。 ・これから、学校と連携をしていければと考えている。
・学校経営方針	K 委員	・今年度から初めて協議会に参加する。よろしくお願いします。
	L 委員	・今年度からこの会に参加する。 ・保護者の目線から、皆さんと協力していろいろなことができればいいと考えている。
	副校長 校長	・皆さんからアイデアをいただきながら学校運営を進めていきたい。 ・本会の主旨は「子どもを地域で育てよう」ということ。 ・学校だけでは生きる力を身に付けることは難しい。 ・体の不自由な子どもたちが通っている学校。体の動きにいろいろな制限がある中で、関係機関と連携を深めて、子どもたちに豊かな経験を増やしていけたらよい。 ・センター的な機能を発揮する。相談の受け皿となる必要があり、そのためにも本校職員は専門性を日々磨いていかなければならない。 ・小中高が設置されていて、一貫性のある指導が可能である。 ・感染症、熱中症など様々なリスクに対する配慮をして、安定的に教育が展開できるようにする。 ・働き方改革について、効率化、思い切った業務削減に取り組んでいく。 ・ウェルビーイング(心身共に社会的によい状態であること)を目指した教育活動を展開する。その方法の一つとしてCS(コミュニティ・スクール)を活用する。
・いじめ対策	副校長	・いじめ対策基本方針に基づいて対応していく。
・暑さ対策	副校長	・暑さ指数に基づいて屋外、屋内の実施を検討する。 ・窓用エアコンを全ての教室に設置した。
・食物アレルギー	副校長	・エピペンの使用など、マニュアルを整備している。
5 学校見学		
・校内及び授業の見学		・幼稚部「あそぼう」 ・小学部「生活～魚釣りゲーム～」 「ことば・かず／自立活動」 「体育～ダンスをしよう～」 ・中学部「職業家庭～クッキー作り～」 「総合的な学習の時間～見学旅行報告会の準備～」 ・高等部「職業家庭～販売会準備～」
6 協議	副校長	・「地域とのつながり」「社会に開かれた教育課程」「地域と一体となった教育実践」をキーワードに委員の皆様からご意見を伺いたい。

	A 委員	・ 地区センターまつりでは、初めて養護学校の生徒たちの作品を展示させてもらった。公民館文化祭が9月末に行われる。今年も子どもたちの作品展示を行いたい。展示物を見ていただくことで、年々養護学校の理解も深まっていると感じる。 ・ サークル活動で、お手伝いできることがあれば参加させてもらいたい。 ・ 地域の皆さんに、養護学校のよさを広げていきたい。
	副校長	・ 学部のニーズに、よさこいソーランの指導ができる人がいたら紹介してほしいという内容がある。
	B 委員	・ よさこいの知り合いはいるので、紹介することは可能。 ・ これまで、パラリンピックを意識した取組ということで、スポーツを中心に動いてきた。 ・ 8/3に旭川夏祭りがあり、UDみこしを引っぱるイベントがある。要望があればUDみこしを持ってくることができる。
	C 委員	・ サークル活動いろいろある。活用いただきたい。 ・ 合唱サークルとの交流に際しては、不安はあったが、先生方にも盛り上げてもらい、サークルメンバー一同とてもいい経験ができた。 ・ 紙睦会の交流も、次年度また一緒に取り組める機会があるなら、内容について、学校と協力しながら今年の経験を生かしてより充実したものになりたい。
	D 委員	・ 地区センターまつりを再開することができた。 ・ センターを利用しているサークルに出演してもらったり、文化的活動サークルの作品を展示したりした。その展示スペースに養護学校の生徒さんの作品を展示した。まだ、スペースは余裕があるので、展示する作品を増やすことが可能。 ・ 来場者は延べ1,000人をこえた。 ・ たくさんの方に養護学校の生徒の作品を見てもらえた。 ・ 運動的活動のサークルもたくさんあるので、養護学校の生徒と何かできることはないか探っていきたい。
	E 委員	・ 春光台公園は自然豊かな公園。自然との触れ合いを楽しむ機会を持つことで協力することができる。 ・ 植物の観察会とか提案できる。 ・ 8/18は「春光台公園を楽しもう」がある。車いす体験ブース中心に他にも何か体験できるものがあれば取り組んでいきたい。 ・ バードウォッチングも可能。 ・ 公園緑地協会に所属していて、他の公園についても紹介できる。
	F 委員	・ コロナ禍が明けて、センターでもボランティアを多数受け入れている。 ・ マジック、紙芝居、ヴォレアス選手訪問、セラピードッグ（8月）など。 ・ 7/23おやこまつりを企画。ツールボックスの鈴木さんにきてもらう。 ・ 旅行代金高騰により、泊学習の規模縮小を余儀なくされていると聞いた。運営協議会の意見として、改善を求める声があがったことを教育局にあげていただき、

	校長	予算確保の一助にしてほしい。 ・北海道教育局（本庁）に意見として伝えたい。 ・就学奨励費の問題にも絡んでくるので、しっかり意見を申し上げたい。
	G 委員	・この運営委員をとおして、薦森先生や長谷川課長さんとのつながりを持つことができた。 ・ツールボックスの展示会に来ていただいた方には、コミュニケーション手段や姿勢など、困りごとへの相談に乗ることができると思う。 ・学部からのニーズの内容を見ていると、移動支援についての記載があった。療育園としてどのように対応できるか確認してみたい。 ・コロナ禍が明けて、外部の方を受け入れることが少しずつできるようになってきた。養護学校の生徒で療育園に興味があれば、見学することもできる。
	H 委員	・教育大学の課題があって、特別支援の免許を取りたいという学生が増えている。多くの学生に免許をとってもらい、将来的に特別支援に進んでもらいたい。早い段階（1，2年生）から、養護学校の現場で子どもたちと触れ合える機会がもてたらよい。 ・異文化交流について、大学に留学生はたくさん来ているが、どんなことをしたいのか、具体的な案を出してもらいたい。留学生のスケジュールは思っているよりびっちり詰まっている。次年度に向けて今から希望を出してほしい。
	I 委員	・ニーズにあるバックヤードツアー、今年も受け入れる。 ・移動販売については工夫が必要。現金のみ、レシートは発行できない、冷蔵食品は扱えない、加工食品のみの小規模なものであれば可能。 ・店舗に来てもらうことができるなら、養護学校の生徒専用のレジを設置することはできる。検討してほしい。 ・母の日、父の日のイベントとして、父母の似顔絵を描いてもらいイオン店舗内に展示している。次年度、描いてもらえたら展示したい。
	J 委員	・施設を利用してもらって体験してもらうことは可能。 ・相談業務をしているので、進路先を紹介（提案）することもできる。 ・感想として。子どもに合わせた授業、活動をしているのはとてもいいこと。外出活動の取組は大切。先生方の努力は素晴らしい。
	K 委員	・普段あまり目にすることのない、他学部の生徒たちの姿を見ることができ、学校の理解が深まった。 ・家族ではできないことを、学校にいる間に一つでも子どもに身に付けてそれを今後に生かして、生活できることに力を入れていることが分かり、親としても、できるところがあれば協力していきたいと思った。
	L 委員	・学部からのニーズを見て、保護者の目線から、できることと難しいものがあるなと感じた。 ・移動支援は難しい。厳しいだろうなと言うのが感想。 ・やりたい理想はあるが、現時的には難しいものが多いと思った。

7 次回の予定	副校長	・ 子どもの学習する姿を見て、継続して取り組むことで、着実に身に付くことがあ ると分かった。
8 校長挨拶	校長	・ 11/25～12/6で検討している。
9 閉会		・ 謝辞

